

ふるさとライブラリーリスト

No.	文書名	資料の種類	所蔵数	主な年代	資料の背景（作者等）
					史資料の内容
1	阿萬文書	原本	129	江戸時代（幕末）   明治時代（10年）	旧蔵者の阿萬豊蔵は、安井息軒に師事し、江戸に上って昌平黌に学ぶ。帰国して飢肥藩清武郷役人を務める。 尚友堂日記（阿萬豊蔵日記）、恒久村・吉村の境界争い関係図、清国の江南商船漂着記、金銭の請払簿、書簡、辞令 等
2	島津文書	原本	141	江戸時代   明治時代（20年）	佐土原藩の藩政関係の文書である。 佐土原藩島津家日記（寛文9（1669）年から文久2（1862）年の間、鶴城譜略、佐土原藩系図、武家厳制録、御誕生記、領地目録 等
3	桑原文書	原本	43	江戸時代   明治時代（初期）	旧佐土原藩士の桑原家の文書である。 佐土原藩譜、維新事蹟、御軍記巻1～5、高城興亡記、薩英戦争の記録、佐土原藩東征軍（官軍）総督樺山舎人氏日誌 等
4	松尾文書	原本	24	江戸時代	佐土原町の松尾家の文書である。 歴代公用日記、桜島噴火記、忠将公御記、門浮面水帳、天明佐土原騒動見聞記、島津淡路守より酒匂求馬へ（書簡） 等
5	日高文書	原本	92	江戸時代（幕末）   明治時代（初期）	旧佐土原藩の郡方役人である日高家の文書である。 船中道中日記（児玉実行）、地券、借用書、書簡、武州江戸開城請取始末書、地球萬国山海輿地全図、大日本輿地全図、江戸城御城之図、日向国臼杵郡椎葉山絵図 等
6	内藤家文書	写本	4	江戸時代 （延享元年から4年）	歴史家石川恒太郎氏による写本である。 内藤家文書
7	小寺文書	原本	47	江戸時代（末期）   明治時代（初期）	宮崎市の小寺家の文書である。 飢肥藩格紙仕立てに関する一件書類、宮崎大島組大庄屋各村人別帳、高千穂一揆関係、御仕置五人組帳
8	新穂家文書	原本 写本	7	明治時代（初期）	都城市高城の新穂家の文書である。 新穂禎蔵書簡、土地売渡証文、施術勝負星取帳、戊辰戦争記録写
9	辰巳屋文書	原本	33	江戸時代（末期）	宮崎市の酒造家の旧家の文書である。 酒造之儀ニ付申渡書、当戌寒酒売出方奉願上候書付、口上覚、証文
10	児玉日誌	原本	49	明治20年   昭和11年	宮崎市の児玉家の日記である。 県会議員児玉伊織の日記で、県政に関わる記述が多く含まれる。

No.	文書名	資料の種類	所蔵数	主な年代	資料の背景（作者等）
					史資料の内容
11	一木文書	写本	25	江戸時代	閑流算法の文書。
					算術利息、算術、天元分分解義、截術前後集、絳老餘算統術巻1・2、天元算題苑巻上・下 など
12	正念寺文書	原本 木版本 写本	18	江戸時代   明治時代	高千穂町正念寺の文書である。
				稲津掃部合戦記（全）写本、島原天草日記（全）写本、島原古城案内記写本、延岡藩宗門帳三冊寛文六年、鹿児島県地誌略、諸家興廃記写本など	
13	三ヶ所村役場文書	原本	13	江戸時代   明治時代	旧西臼杵郡三ヶ所村役場保存の文書である。
				日向襲高千穂神代図、春秋御銀調帳1巻(享保7年)、御検地帳二又村(元禄5年)、御物銀米算開帳(貞享4年)、御物成銀米算用帳1巻(元禄12年)、宗門改帳1巻(明治元年)	
14	佐土原藩島津文書	原本	214	江戸時代	佐土原藩島津家の江戸時代の文書である。
					領地目録、宣旨、口宣案、案緒状、位記、村寄目録、藩知事就任の辞、旧幕府平定に対する違書、旧幕府平定に対する慰勞沙汰状
15	佐土原藩島津家日記	原本	571	江戸時代	佐土原藩に関する公的日誌である。 在所と江戸で書かれたものがある。 *詳細は註1
					在所日記 221冊 江戸日記 350冊
16	高鍋藩本藩実録	写本	53	江戸時代	高鍋藩秋月家の江戸時代の藩政史料
					高鍋藩本藩実録（天慶3年～宝暦10年、7巻）、続本藩実録（宝暦11年～安政2年、22巻）、続々本藩実録（明治元年、14巻）、拾遺本藩実録（貞享元年～宝暦10年、11巻）など
17	大雄寺文書	原本	20	江戸時代   明治時代	美郷町西郷の寺院に伝わる帳簿
				過去帳 寛延元年～明治35年	
18	佐土原藩検地帳	写本	2	江戸時代	青山文書
					日州佐土原御検地名寄帳（文久2年） 日州佐土原御検地竿扱帳写（万延元年）
19	嶮南文庫	原本	590	江戸時代   明治初期	幕末期の飢肥藩の学者・家老・平部嶮南の文庫である。 ※寄託：日南高等学校（日南市）
				康熙字典13巻、西国盛衰記6巻、古簡雜纂12巻、康成抄書13巻、農業全書11巻、謄本30巻、近世名家分鈔8巻、庄内平治記7巻、太平廣記62巻、三国史55巻、史記15巻、日向纂記21巻、嶮南日記18巻、息軒文集4巻 嶮南纂記10巻、領内各村の地図63枚など	
20	秋月文書	原本 写本	52	江戸時代	高鍋藩秋月家の文書である。
					秋月種長家譜3巻、秋月家御一門之覚1巻、秋月家旧記1巻、人給帳1巻、勘定所山帳5巻、日向国那珂郡之内飢肥上村御検地帳写（慶長10年）、飢肥人給帳2巻、飢肥石高帳2巻など

No.	文書名	資料の種類	所蔵数	主な年代	資料の背景（作者等）
					史資料の内容
21	佐土原藩島津家文庫	木刷本 写本	985	江戸時代   明治時代	佐土原藩島津家の藩主が使用した御手許本を含む江戸時代から明治時代にかけての和漢籍である。
					佐土原藩島津家の藩主が使用した御手許本を含む江戸時代から明治時代にかけての和漢籍である。 *詳細は註2
22	杉田文庫	原本	約6,000	江戸時代   明治時代	杉田家から受け入れた俳諧関係資料ほか
					賦何人連歌、朗詠詩俳諧両吟、松尾芭蕉肖像、夏目漱石俳句短冊、与謝野晶子短歌短冊、種田山頭火俳句短冊 等 *詳細は註3
23	古典籍類 ※島津家文庫を除く	原本 木刷本	約5,000	江戸時代   大正時代	公的機関・大名家・個人などから収集した古典籍（木版・活字印刷）
					「大日本史」「成形成説」「春秋左氏伝」「資治通鑑」「本草図譜」「古事記伝」など

古文書類 (No,1~20)	2,127 点	
古典籍	約6,000 点	(佐土原藩島津家文庫を含む)
杉田文庫	約6,000 点	(書や墨絵の掛け軸などで高い価値がある遺墨類)
	総数 約14,000 点	

### 註1 「佐土原藩島津家日記」について

- ・第4代藩主忠高の寛文9年（1669）12月から、第10代藩主忠寛の文久2年（1862）6月までの194年間にわたる藩政記録である。
- ・内容は、佐土原で書かれた「在所日記」と江戸藩邸で書かれた「江戸日記」に分かれる。
- ・在所の佐土原日記については、昭和54年度から57年度にかけて「宮崎県史料第5～8巻」として刊行している。
- ・江戸日記は平成11年度から『佐土原藩島津家江戸日記』として筆耕翻訳作業を進めており、平成28年度までに18巻まで刊行。
- ・原本は、破損が進んでいたため、裏打ちを施して、製本したり閉じ戻しを行うとともに、マイクロフィルムとデジタルデータでも所蔵。

### 註2 「佐土原藩島津家文庫」

- ・大名家として開幕から幕末まで存続した佐土原藩島津氏が残した資料のうち、藩主の蔵書等を含む古典籍類の総称。
- ・佐土原藩は多くの典籍を入手したうえ、出版事業も行っており、藩士の教育に力を入れていたことがうかがえる。
- ・藩校「学習館」で使用した儒学書『近思録』などが残されている。
- ・このほかにも、以下のような貴重な古典籍が含まれていることが確認されている。

### 註3 「杉田文庫」について

- ・杉田直・正臣氏の父子二代にわたって収集されたもの
- ・中世以来の連歌関係、江戸時代後期の城ヶ崎を中心にした日向俳壇関係、明治末期以降の文人たちの作品。
- ・種田山頭火との関わりを示すものなど全国的に貴重な史資料を含む
- ・俳諧など文学的に高い価値がある遺墨類約6,000点
- ・医学書、郷土資料などの図書類約6,000点
- ・合わせて約12,000点を「杉田文庫」として受け入れ、保管・公開している。
- ・貴重資料として保存しているのは、遺墨類約6,000点である。